

## 日本・パラオ友好の橋



- 発注者 パラオ政府 資源開発省／鹿島建設㈱
- 形式 3径間連続鋼・コンクリート複合エクストラードズド橋
- 橋長 412.7m（支間長：82.0m+247.0m+82.0m）
- 有効幅員 4.00m×2(車道)+1.20m(歩道)
- 鋼材重量 544t
- 架設工法 台船による大ブロッカー一括吊上げ工法
- 完工 平成13年10月
- 特徴
- ・PC桁と鋼桁の接合部構造は生口橋や多々羅大橋で実績のある「後面プレート方式」を採用した。応力は後面支圧板と各セル内に設置されているスタッドジベルおよび角鋼ジベルをとおして伝達する構造としている。
  - ・鋼桁(センタースパン 274m中 85m)は、パラオ国内では製造できなかったため、第三国で大ブロック製作し、台船にて曳航後、一括吊上げ工法にて架設した。
  - ・架設系における耐風安定性と制振対策は、風洞実験により検証した。